

# 第30回記念

# 全道自治体職員等女子バレーボール選手権



# 全道優勝大会

速報 vol. 1 08. 7. 25

## 30年の記念すべき大会全力で戦う

第30回を迎える全道自治体職員等女子バレーボール選手権全道優勝大会の開会式と選手交歓会が7月24日札幌市で行われた。会場のノースシティには、9地本・15チーム約200人が集まった。

初出場の石狩市職労・松木有紀主将が2日間の試合に向け「私たちが選手一同は、この記念すべき大会でプレーできることに感謝し、チーム一丸となって最後まで全力で戦うことを誓いま



「これまで培ってきた力を発揮して有意義な大会にしよう」と、山田大会長（中央）



「すー」と力強く選手宣誓した。（右写真）

今年初出場の石狩市職労、遠軽町労連には記念品が贈られた。

### 自治体職員同士の交流

開会式は、小沢札幌副市長が来賓で出席。「長い歴史を支えてきた大会役員のみなさまにそのご苦勞に敬意を表す。大会の一番の目的は自治体職員同士の交流と聞いている。

### 三浦委員長あいさつ



### 全国大会めざし奮闘を

バレーボール競技の魅力は「団結」。6人制と違って9人制はラリーの

る。他の自治体職員との

交流を楽しんでいただきたい」とあいさつした。

北海道実業団連盟総務部長の田中昌幸さん（深川市議・組織内）は、「自治労は公平・公正な社会をめざしている。それと同様、審判も公平・公正をめざす」と審判団を代表して話した。

畑瀬札幌市議会議長も出席し選手を激励。乾杯の音頭をとった。

